

働く人の声を届けます

【山形労働局】

仕事の魅力発信!

「介護」の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
チャレンジしてみたいけれど、実態がわからなくて不安…、
という方も多いのではないのでしょうか？
そこで、実際に「介護」の現場で働いている方々にお話を伺いました。
現場のリアルな声を通して、「介護」の仕事の魅力をお伝えします。

介護

Care workers
Real Voice!

研修で基本をしっかりと学べる！ 1年目で一人立ちできました。

社会福祉法人 いずみノ社
介護士（1年目）



医療系を目指していましたが、昔から同居する祖父母が好きで、「もっと高齢者を手助けしていきたい」と思い、介護の道に。業界未経験でしたが、入職後半年間の座学や実務研修で基本をしっかりと学ぶことができました。今は一人立ちし、利用者様の食事、排泄、入浴、着替えなど日常生活のお手伝いや、夜勤もこなしています。実務では教科書通りには行かないことも多くありましたが、上手くできない事は先輩に教えて頂いたり、利用者様からも感想を聞きながら、その日の復習をして次の日の実践に活かす、という繰り返しを重ね克服してきました。上達するとやりがいを感じるし、自信もつきます。何より日常業務の中で、ささいな事でも利用者様から「ありがとう」と感謝を伝えてもらえるのが嬉しいです。

次の目標は、介護福祉士の資格を取得すること。資格取得についても、施設が支援してくれます。資格取得には実務経験が3年必要なので、まずは仕事を頑張りながら、勉強も続けていきたいです。

最期の看取りまで支援できる。 利用者様の笑顔がやりがい。

社会福祉法人 いずみノ社
介護士（10年目）

特別養護老人ホームで介護士の仕事をしています。利用者様の介護をしながら、サブリーダーとして職員のモチベーション維持のために職員の話の聞いたり、メンタルケアにも心がけています。わからないことは誰にでも相談でき、看護師さんとも連携を取りながら対応しています。職員同士声かけし合っているし、優しい方ばかりなので、話しやすい雰囲気職場だと思います。

この仕事の魅力は利用者様の笑顔が見れること、そして最期の看取りまで支援できること。看取りは慣れないし、慣れたくない部分ではありますが、最期まで寄り添ってお仕事させて頂き、ご家族様から感謝の言葉をいただくと「頑張ってたかった」と思います。中には認知症が進行し対応が大変だった利用者様もいましたが、そういう方も笑顔が一番の思い出として印象に残っています。今後も利用者様に「この施設でよかった」と思ってもらえるような支援をしていきたいです。



仕事の魅力発信!

care workers
Real Voice!

介護

人生の大先輩である、 高齢者との談話が楽しい!

社会福祉法人 みゆき福祉会
介護士(2年目)



介護士として、短期入所の利用者様の食事介助や排泄介助など、日常生活のサポートをしています。昔から高齢者が好きで、大学では社会福祉を学びました。実際に介護士として働いてみると、利用者様一人ひとり認知症の症状や個性が様々で難しく感じる事もありますが、大学や研修で学んだ事を思い出しながら対応しています。入職1年目は先輩が付いて指導してくれる「プリセプター制度」があり、いつでも先輩に相談できる環境で、技術や気持ちの面を日常的にフォローして頂きました。また、施設にはケアの質向上のために「排泄」「食事」などのサービスを細分化して分野ごとに課題や改善策を話し合い実践していく「係会」という取り組みがあり、より専門性を高めることもできています。資格取得のための研修や時間、費用面での支援もあり、スキルアップもしやすい職場だと思います。将来は社会福祉士と介護福祉士の資格を取得し、二つの専門分野から仕事に関わっていきたいと思っています。

仕事の楽しみは、利用者様と温泉や旅行の話をしたり、若い頃の話や聞いた話、談話の中でお互い笑顔になれること。高齢者は人生の大先輩。色々な知恵を持っていて、お手本にしたい方が沢山いらっしゃいます。

介護の魅力は、その「深さ」。 家族と仕事の相互作用。

社会福祉法人 みゆき福祉会
介護士(12年目)

短期入所の介護主任として利用者様の介護や職員の人材育成に携わっており、施設内のコミュニケーション研修講師をしております。また、県認定の認知症介護指導者の資格を取得し、今後は外部研修の講師も勤めていきます。これまで幼稚園、障がい者福祉施設で働きましたが、もっと福祉を極めたいと思い、職業訓練で介護の資格を取得し今の職場へ。人との関わりが好きで、人の温もりが感じられる温かい仕事がしたいという気持ちがありました。やりがいは利用者様の笑顔や感謝の言葉はもちろん、やったことに対して評価してもらえる職場環境にもあります。

職場は男女関係なく育休や看護休暇を推進しており、私も看護休暇を利用し育児と仕事を両立中。時間の面だけでなく、守るべき家庭や子どもがいることで使命感が生まれ、仕事の原動力になる、という気持ちの面でも相互作用が働き両立ができていると感じています。

介護の仕事の魅力は、その「深さ」にあります。ひとつの動作でも、利用者様が「何故やりたいのか」「何を考えているのか」という「何故」を追求する事が、「人のため」に繋がっていきます。そこを追求できる人は介護の仕事に向いていると思いますね。最近は介護の現場もIT化し、記録も電子化するなど業務がやりやすくなりました。高齢化社会に無くてはならない介護の仕事。魅力をもっと知って欲しいです。

